

---

# 登校拒否児一日目。

乃普介

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

登校拒否児一日目。

### 【Nコード】

N1841T

### 【作者名】

乃普介

### 【あらすじ】

登校拒否児が考える人間とは。

周りの人間は自分を心配してくれはしない。子供なんてなおさらだ。だから俺はなつたんだ。登校拒否児に。

これは周りとのコンタクトを断つのに一番良い手段だ。

周りとの関係は親だけにすることが出来る。

けど、コンタクトをとらなくなって気づき始めたことがある。

それははつきり言っただけであたりまえのことだ。人間は一人では生きていけないっていうこと。

今ならはつきりとわかる、つながりの大切さ。

周りのすべてを投げ捨てても俺を優先してくれる人。

いつも妄想で我慢しているけど、

絶対にはいてくれないのはわかってる。

そんなのは妄想の産物でしかなくて。

現実の人間はもっと自分勝手だ。

だから俺は続ける登校拒否児を。

・・・と初日の今日は考えている。

まあ俺のことだすぐ忘れるんだろう。

けど

一人になるより怖いから

忘れることはなにより怖いから

だから俺は

こうやって文章にしているんだと思う。

・・・結局わかったのは

周りとのコンタクトを断つのは無理だったことだ。

断つことはできる。

それは自由だと思う。

だけど人は一人だと生きていけないから。

それに気づいてしまった俺はやっぱり明日はもとに戻るんだろう。

人間ってというのは本当弱い生き物だ。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1841t/>

---

登校拒否児一日目。

2011年10月8日15時40分発行